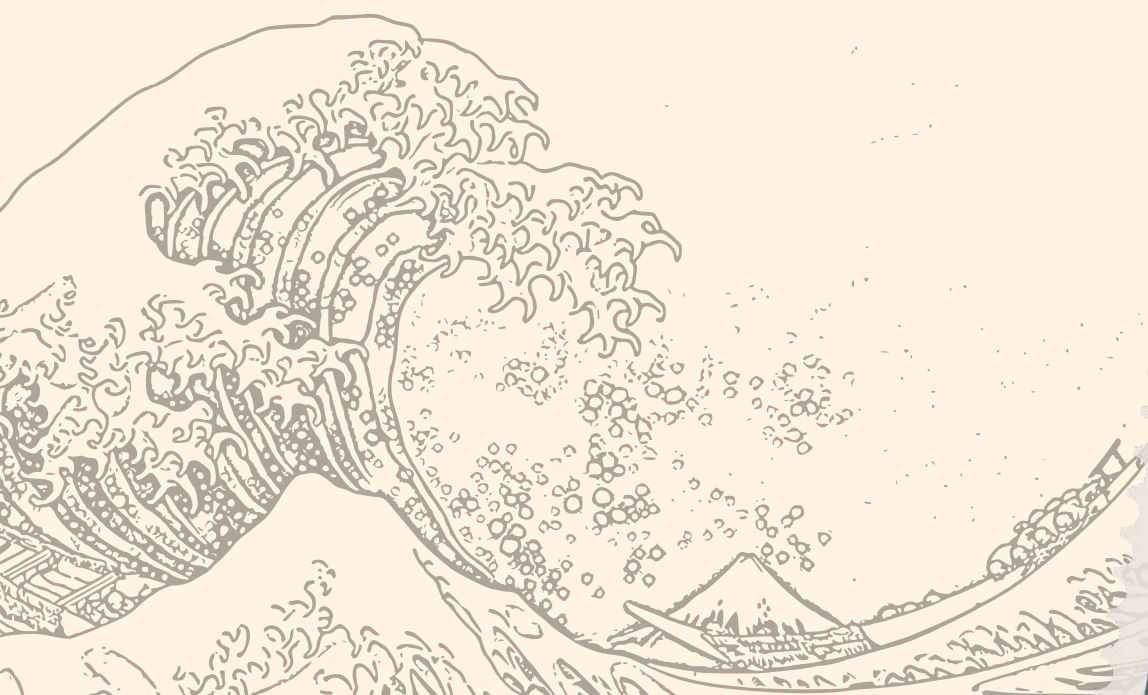


高二日本 教育旅行 演講經驗分享

2023 新竹女中
11.02 周語泠



檔案目錄

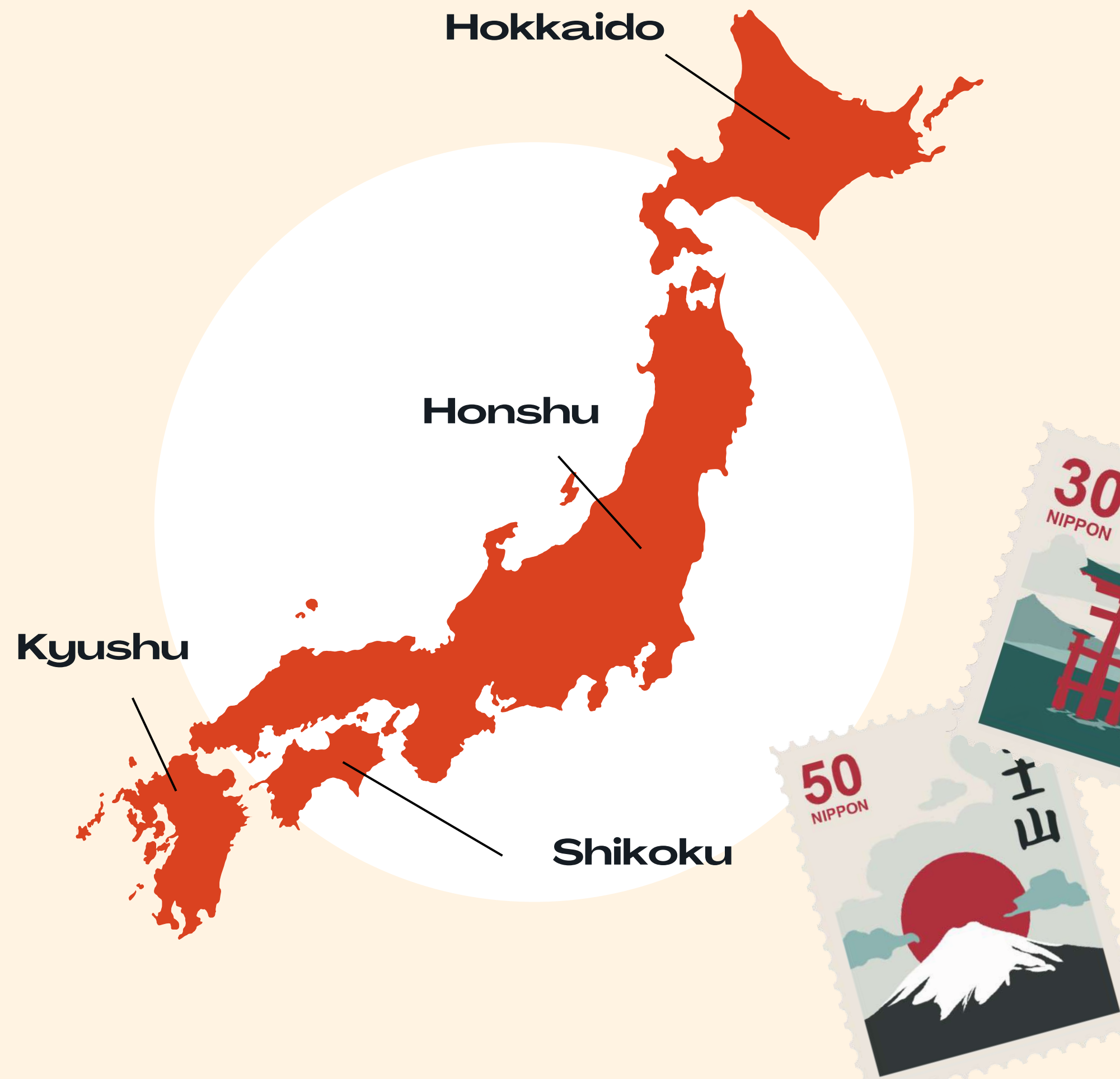
p3. 參加教育旅行目的

p4. 徵選動機

p5. 講稿擬定

p7. 成果發表

p8. 心得與反思



01 / 參加教育旅行目的

下圖為新竹女中學生與中央大學附屬高校的合影



下圖為
我和演講搭檔與中央大學附屬高校學生會代表的合照



為期六天五夜的教育旅行，除了能培養自己身處異地獨立自主的能力外，更希望能透過參與日本學府的教學過程與參觀校園環境拓展國際視野，與日本學伴們建立國際友誼，增廣見聞。尤其能與日本校園交流是個非常特別的體驗，不是一般個人旅行能觸及到的範圍，新鮮感和好奇心驅使我別錯過此次獨有的機會。再者，因為對日本文化和風情情有獨鍾，也一直嚮往著日本動畫中的校園場景和氛圍，所以此次的交流讓我十分期待，也希望自己能在不同國家的教學方式和學生的生活作息中找到最適合自己的學習模式和喜歡、想追求的事物。

02 / 徵選動機

語言，雖然各國間有所不同，卻證明了人類文明擁有各自發展的能力，並成為了各文化間獨特的印記。我一直以來都有在自學日文，因此看到學校徵選日文演講代表時便躍躍欲試，想藉此驗證自己的學習成果。也希望能夠打破文化的隔閡，促進新竹女中與其他國家學府之間的交流。作為學校代表，希冀能搭建起更緊密的國際聯繫，使新竹女中的名聲在國際舞台上能夠更加響亮。同時也想勇敢地挑戰自己在異國用非母語將新竹女中的特色和風情介紹給日本高中的師長。不僅能穩健自己的台風，更是一種能拓展視野和增強自信心的過程。

附圖為 徵選講稿節錄

こんにちは、私（わたくし）はXXXと申します。本日は私たちのしたいと思います。国立新竹女中は何の魅力があるか一緒に見に

まず、新竹女中は美しい新竹市にあります。綺麗なキャンパスと有名な女子高校の1つです。

本校は、生徒の全人教育を重視しています。実践的なカリキュラアート、スポーツなど、さまざまな面白い授業があります。例えばペラの歌を学んで合唱コンテストに参加します。それとバレーボールです。学校には生徒たちがバレーボールをする姿がよく見

新竹女中是一个面白い伝説があります。それは「七キログラムの学して3年間で7キログラム太くなりやすいです。生徒たちは学業のためにたくさん美味しい食べ物を食べて、少しずつ太くなった。にとって、小確幸とも言えます。

本校ではもう一つ面白いことは全ての生徒が「夏奇拉」という夕時に、卒業した先輩が学校に戻り、後輩たちと一緒に「夏奇拉」緒に踊って、とても素晴らしいことです。

国立新竹女中は、活力に満ち溢れて、魅力的な学校です。生徒が揮うことができます。以上で、新竹女中について簡単な紹介でございました！

03 / 講稿擬定

完整版講稿 (點擊觀看)

由1/2的錄取率徵選上後，得知要與另一位搭檔一起擬定出一份完整的日文講稿，便十分興奮地想了許多要介紹給日本學伴們的新竹女中的特色還有新竹之美，卻也因此遇到許多瓶頸。除了我們的用字較口語，沒有學到正式用法外，也發現自己有許多的專業單字沒觸及過，導致撰寫的過程多次卡關，定稿之路也越來越艱辛。我的搭檔有上過家教日文課，相較我而言擁有較多詞彙量。而一直使用自學軟體和常常看日本動畫的我很有語感，也因時常造訪日本有些許與當地人溝通的經驗，雖然不太清楚確切用法，但日常經驗也能積沙成塔，那些日積月累終於派上用場。將兩者合一便能同時潤飾句型也能較精準地用字，不怕鬧出烏龍和誤會。其實到最後許多詞的用法和段落語法都仍不確定。但經過一番努力後我們也終於寫出人生第一份日文講稿，這得來不易的經驗真的讓人非常有成就感！

こんにちは、私（わたくし）は謝と申します
私は周と申します。本日は私たちの学校、国立新竹女子高
を紹介したいと思います。
新竹女子高校は台湾の北西部、ピーフンや半導体などでは有
名な新竹市にあります。綺麗な校舎と豊かな(yutakana)歴史を持
つ台湾で有名な女子高校の一つです。
皆さんに新竹女子高校の魅力を見ていきましょう！

周さん、昨日のハイキューを見ましたか？すごかったです

え？そうなんですか？ハイキュー！！は見てないけど、バ
レーボールが大好きで、毎日バレーボールをやっています！

そんなにバレーボールが好きなんですか？

はい！そうです！新竹女子高校ではバレーボールが非常に
人気があるスポーツで、学校では生徒たちがバレーボールをす
ぎよく見られます。

え？そうなんですか？何で毎日バレーボールをするんで

それは、生徒たちは勉強を一生懸命に頑張っていて、その
おかげでたくさん美味しい物を食べて、少しずつ太くなったんで
「新竹女子高校には一つ面白い伝説があります。それは「七キ
ロムの呪い」です。新竹女子高校に入学すると3年間で7キロ
太ります。これは新竹女子高校の生徒にとって必要な過程(か
い)です。成人式みたいな感じです。



03 / 講稿擬定

完整版講稿 (點擊觀看)

之後發現學校有日文老師能幫忙修改草稿，便覺得心安許多，也在修改前後對比下發現我們的不足--除了原本就知道的「說法較口語」之外，許多介係詞和語尾詞的使用都很容易搞混。例如練習xx事情且語句尚未斷掉的用法應是「練習をし」，但原本寫成「練習しています」反而是將語句直接停頓的用法，但後面還有敘述句，因此這樣使用不夠精確。再來就是專業用語，例如內容提到的臺灣高二將分成「一~三類組」，但這並非日常用語，所以上網查詢了一番，卻在修改後發現我們找的用法較特殊，比較像是文獻中的學術用法，經修改後才改成「文系、理系」。但也不認為自己努力打出來的原稿是白費，畢竟天空不是完全不留痕跡，也已飛過，能有師長教導更是添翼。有機會在錯誤中學習如何正確地運用零碎的詞彙，非常有收穫，也對日文更加好奇。

式を通じて、私たちに大人としての責任と義務を意識するようになります。

入式の際には、高校3年間の振り返り動画を放送し、その後、クラス代表が担任の先生に感謝の気持ちを込めてお茶を出します。

最後に、先生は知恵の火を象徴するろうそくに火をつけるのを手伝ってくれます。

このような伝統には深い意味があります。

私は楽しみにしています。

周：それと、在学中にもう一つ大事なイベントがあります。

謝：どんなイベントですか？

周：それは、学園祭の時の一年生がする仮装パレードです。二年生になると文系と理系のクラスに分かれます。だから、仮装パレードは高1の生徒にとって、一番一致団結することができる活動なんです。長い時間をかけてダンスの練習をし、メイクや衣装にもこだわって、多くの観客に披露します。それは高校1年生の最高の思い出であり、高一が終わるの時に誰もが別れを惜しむ理由の1つです。私たちは皆、仮装パレードが大好きで、懐かしい思い出です！

周：最後は皆さんが1番知りたい部分Bubunですよ！

謝：新竹女子高校には40種類以上の部活があります。

運動部や文化部だけでなく、スケートボード部や電子音楽部のような特別な部活もあります。

自分にぴったりの部活を必ず見つけることができますし、見つからない場合は、自分でクラブを創設することもできます。

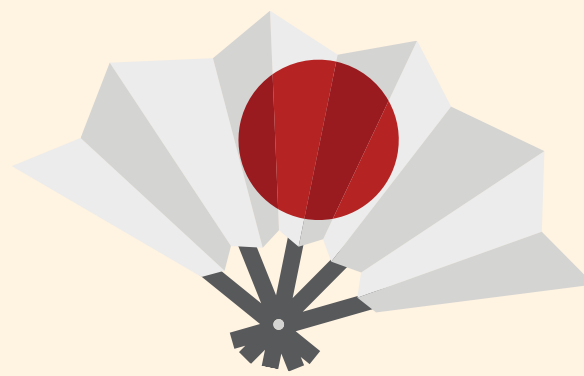
04 / 成果發表



我一直以來都不會恐懼上台，甚至非常喜歡站在台上向大家闡述自己的想法和傳達個人意念。所以在台上向臺灣和日本同學、師長們演講時雖然多少還是有些緊張，但在開口講話的那刻就開始找回了冷靜。隨著演講的進行，我感受到自信逐漸增強，也沉浸在大家的目光中，這或許正是我人生中少數能產生「心流」的幾個瞬間。和搭檔一起將好幾個夜晚努力精修的內容生動地呈現在觀眾眼前，非常流暢。雖然過程中還是出了點技術上的失誤，但相信瑕不掩瑜，我們

依舊不疾不徐地將演講完整收尾，獲得滿堂喝采，更給了我們二人特殊的成就感--並不是每個人都有在異國用異國語言發揚母校和母國的機會，我們非常珍惜這得來不易的學習機緣，也充滿了繼續學習日文的動力與信心。演講結束後甚至還收到日本校長的當面讚賞，說我們的口音十分標準，內容有扣合一些有趣的日本文化讓學生們都哄堂大笑，非常引人入勝。但即使得到如此高的評價也不能驕傲忘本，語言是無止盡的學習與精進！希望下次再訪日本時能達成用全日語與日本人交談的目標。

05 / 心得與反思

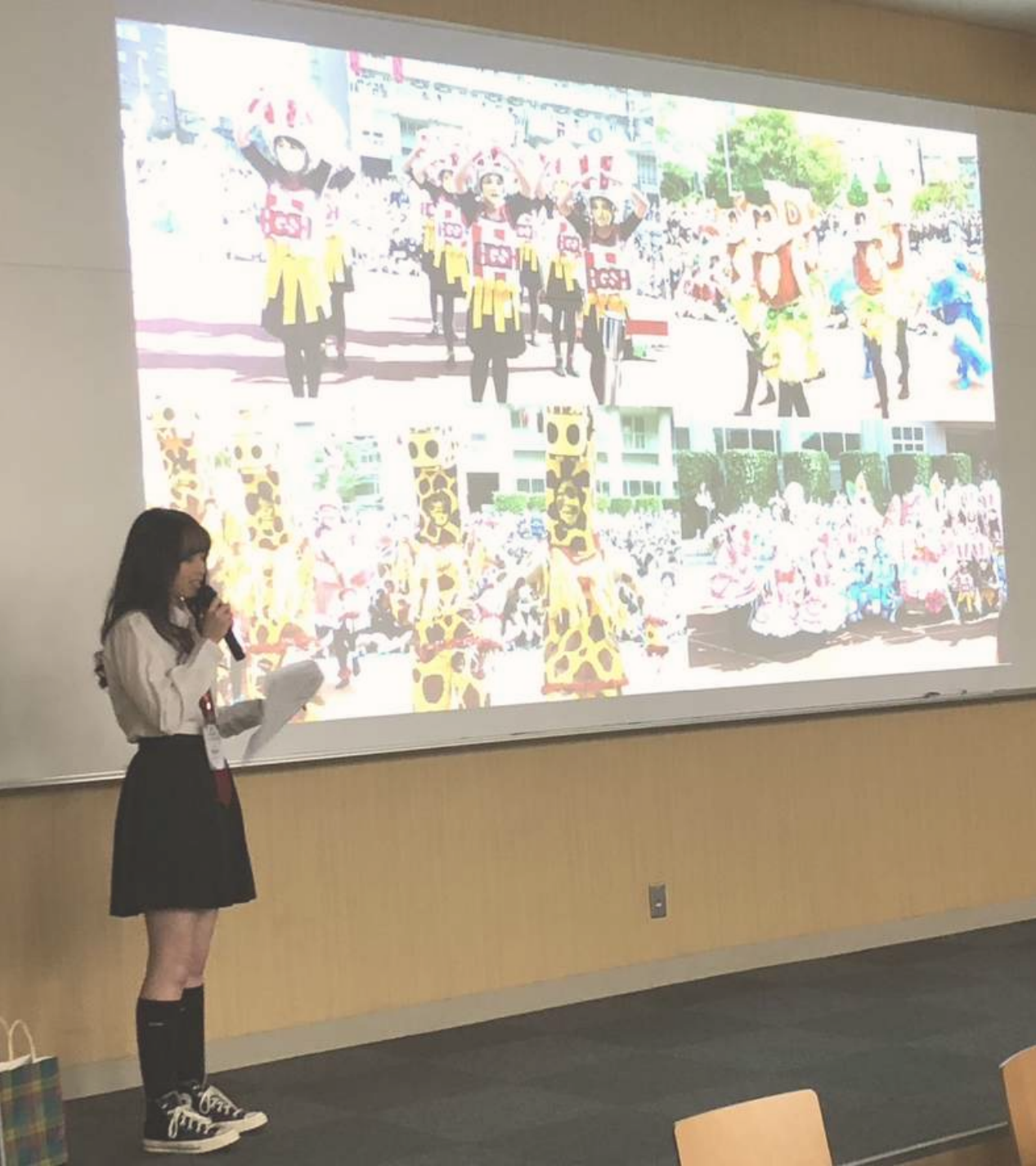


對我來說在日本學校用日文進行演講是個極富挑戰性的經歷，不僅提升了我的語言表達能力，也加深了我對自己的信心，同時感受到克服挑戰所帶來的成就感，是一個難忘的學習歷程。

同時在演講的過程中發現了許多：首先，臺灣和日本學生的不同之處令我深感新奇，特別是日本學生在聽演講時的反應。相較於臺灣青少年在他人演講時較不會給予「大反應」，例如大笑等動作；但日本學生卻不會害怕及時給予反饋。也因此發現了下一件事--演講中的互動與討論讓我深刻體會到日本學生對於世界的開放態度。他們積極提問，表達對臺灣教育的好奇心，也分享了他們的看法。這樣的互動豐富了我對日本學生的了解，同時也拓展了彼此之間的視野，讓我非常驚訝。在臺灣大家通常都會害怕自己的提問過於簡陋或覺得會被嘲笑而不進行任何提問，或許是在壓抑式教育中大家變得不敢質疑台上的人所說的話進而導致不懂的事情到最後仍沒搞懂，這或許是臺灣教育上的缺漏，值得我們思考和做出行動。或許是師長面對提問的態度必須轉變成正向的回應教導學生，而不是「這麼簡單的你也不會？」諸如此類的回答在臺灣的教室裡比比皆是。這更在這次交流中，參與他們課堂學習時印證了我的想法。

教育文化差異導致學生面對問題時有不同的回應，也希望臺式教育能針對此做出改變。這更促使我更加重視跨文化交流的重要性，不能一直待在臺灣的舒適圈內，世界的寬廣和未知都值得我們去發掘和接受。總而言之，這次在日本學校的演講經歷是一個豐富而寶貴的學習機會。透過這個過程，我不僅提升了自己的表達能力，更深化了對教育和文化交流的體悟，期望日台兩地能友好交流，互相砥礪也同時激勵我們跨出舊視界！





Thank you

新竹女中 周語玲



(底圖為演講過程紀錄照片)

